

3 特別支援学級の実践事例と評価

実践事例 5

授業展開例（中学校第1～3学年）

- 1 主題名 学校の伝統を受け継ぐ【内容項目 C(15) よりよい学校生活、集団生活の充実】
- 2 ねらい 先輩たちの努力によって培われた伝統を後輩の在校生が継承し、みんなで協力し合って、よりよい伝統の樹立と発展に努める態度を育てる。

教材名 「ミソアジの学校」（「新 あすを生きる1」日本文教出版）



3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値

生徒にとって学級や学校は、生活の大半を過ごす大切な場である。学校は、公的な集団生活の場である点で私的な集団生活の場である家庭とは大きく異なっている。また、生徒の生活の場である学校は、それぞれ一様ではなく、伝統はその学校の歴史そのものである。地域の風土や文化は、人々に支えられて、先輩たちが長年に渡って努力して培ったものであり、後輩たちがそれを継承し、協力し合ってよりよい伝統へと発展させていくものである。歴史をつなぎ、更に発展させる主役は在校生、つまり自分自身に他ならないという自覚をもたせたい。

(2) 生徒の実態

小学校の段階では、特に高学年で、先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることについて学んできた。

中学校に入学して間もない1年生は、学校生活の環境の変化により、教師や学校の人々への敬愛の気持ちや学校に対する愛校心、集団への帰属意識も十分ではない傾向があった。しかし、2・3年生とともに生活することで、中学校生活にも慣れて、学校や学級が重要な生活の場として実感できる生徒が増え、学級の集団の一員としての自覚が芽生えてきた。また、1～3年生みんなで力を合わせ、学校行事等を成功させたことで、集団への帰属意識が高まってきた。本校の伝統の一つである「挨拶」について、挨拶の大切さは理解しているものの、挨拶が伝統であるという認識を高めていく必要がある。自校の伝統について理解し、伝統を継承し、発展させようとする意識を高めさせたい。

(3) 教材の活用について

本教材は、主人公の「僕」がN中伝統のミソアジ運動を経験して考えたことが書かれている。ミソアジ運動が始まった当初は、挨拶（ミソアジの「ア、あいさつをきちんとしよう」）に消極的だった「僕」が、先生や卒業生である父親からの話を聞くうちに少しずつ気持ちに変化し、ミソアジ運動の挨拶に前向きに取り組むようになるという話である。「僕」のミソアジ運動への気持ちの変化を考えさせることを通して、伝統を継承し、発展させようとする態度を育てたい。

4 学習指導過程

	学習活動 (○主な発問 ◎中心となる発問 ・予想される生徒の反応)	◇指導の留意点
導入	<p>1 教材に興味をもつ。</p> <p>○「ミソアジの学校」の「ミ・ソ・ア・ジ」とは、何のことだと思えますか。</p> <p>・「味噌味」だと思う。何かの料理を作るんだと思う。</p> <p>今日は、みんなでよりよい伝統を作っていくことについて考えていきましょう。</p>	<p>◇教材名を提示し、「ミソアジ」は伝統に関わる頭文字であることとその内容を紹介し、生徒に興味をもたせる。</p> <p>◇学習のめあてを知らせる。</p>
展開	<p>2 教材の前半を読み、話し合う。</p> <p>○初めての「ミソアジ運動」で、小さな声で挨拶を返し、足早に校門へ向かったとき、「僕」はどんな気持ちだったのでしょうか。</p> <p>・挨拶は大事だと分かっているけれど、恥ずかしかった。</p> <p>・大声で挨拶するのは恥ずかしいと思った。</p> <p>・他から押し付けられている気がして嫌だと感じた。</p> <p>○「僕」だけでなく、どうして他の人も大きな声で挨拶ができるようになったのでしょうか。</p> <p>・大きな声で挨拶をして、とても気持ちがよかったから。</p> <p>・生活委員がずっと大きな声で挨拶運動していたから。</p> <p>・学校全体が大きな目標に向かって動いていると感じたから。</p> <p>3 教材の後半を読み、話し合う。</p> <p>◎どうして「僕」は、伝統を守り、発展させていくことが大切だと思ったのでしょうか。</p> <p>・これまで伝統を守ってきた先輩たちのためだと考えたから。</p> <p>・地域の人たちがいつも見守ってくれているから。</p> <p>・自分たちの学校のために必要だと思ったから。</p> <p>・入学してくる後輩のために必要だと思ったから。</p> <p>4 本校の伝統を受け継ぎ、更によりよい伝統を作っていくために、自分が特に取り組みたいことを考える。</p> <p>○自分たちの学校の伝統の中から、自分が特に取り組んでみたいことは何ですか。</p> <p>・大きな声で挨拶をする。相手の目を見て挨拶をする。</p> <p>・掃除を丁寧にする。地域のゴミ拾いのときにたくさん拾う。</p> <p>・文化祭で大きな声で歌う。</p>	<p>◇「僕」の伝統に対する気持ちについて考えながら範読を聞くように伝える。</p> <p>◇押し付けがましきや恥ずかしさを感じ、すぐに行動に移すことができないという「僕」の思いに気付かせる。</p> <p>◇学校の伝統を継承し、よりよい伝統を作っていくには、一人一人が努力し、協力していくことが大切であることを押さえる。</p> <p>◇学校の伝統を継承し、発展させていくことは、卒業生や地域の方、自分たちや今後入学してくる後輩のためであるということを押さえる。</p> <p>◇ワークシートの活用</p> <p>◇「10周年式典 生徒文集」 「私たちの学校にこれから期待すること」について紹介し、本校の伝統について確認する。自分ができるところを考えさせる。</p> <p>◇よりよい伝統を作っていくとする思いを共有させる。</p> <p>◇ワークシートの活用</p>
終末	<p>5 教師の説話を聞き、学習を振り返る。</p>	<p>◇伝統を継承し発展させていくとする意欲を高めさせる。</p>

5 評価

自分の学校の伝統について理解を深め、みんなで協力し合ってよりよい伝統を作っていくという思いをもつことができたか。

授業記録

学習活動 (T：教師の発問、問いかけ C：生徒の発言、反応)	
導入	<p>1 教材に興味をもつ。 T：「ミソアジの学校」の「ミ・ソ・ア・ジ」とは、何だと思えますか。 C：何だろう。 C：味噌の料理をつくる学校だと思う。 T：今日は、「ミソアジの学校」を読んで、みんなでよりよい伝統を作っていくことについて考えていきましょう。</p>
展開	<p>2 教材の前半を読み、話し合う。</p> <p style="text-align: center;">問う</p> <p>発問1 T：初めての「ミソアジ運動」で、小さな声で挨拶を返し、足早に校門へ向かったとき、「僕」はどんな気持ちだったのでしょうか。 C：やらされている感じがしたと思う。 T：Aさんと同じ考えの人はいますか。 C：(数人が挙手をする。) T：違う考えの人はいますか。 C：恥ずかしかったと思います。 C：ドキドキしたと思います。 C：挨拶したいと思っていたけれど、初めてだったので、とても緊張したと思います。 T：挨拶運動を見るのは初めてだったから、緊張があったのかもしれないね。「僕」はこのとき、恥ずかしかったり、やらされている感じがしたりしていたんだね。 T：私たちの学校にも「挨拶運動」がありますね。「僕」と同じような経験がありますか。 C：(生徒数名がうなずく。) C：私は、いつも大きな声で挨拶をしている。 T：Bさんはいつも大きな声で挨拶をしていますね。主人公の「僕」も他の人たちも大きな声で挨拶するようになってきました。</p> <p>発問2 T：「僕」だけでなく、どうして他の人も大きな声で挨拶ができるようになったのでしょうか。 C：挨拶ができないと恥ずかしいので、一歩踏み出してみたかったのだと思います。 C：先輩たちが挨拶をしたり挨拶をする呼びかけをしたりしていた姿を見て、先輩たちのようになりたいと思ったからだと思います。 C：Cさんと同じで、挨拶をしているみんながかっこいいと思ったからです。 T：みんなとは誰のことですか。 C：先輩や友達や先生、学校のみんなです。 T：なるほど、学校にいるみんながかっこいいなと思ったのですね。学校みんなで挨拶をしている雰囲気があったのですね。他に意見はありますか。 C：生活委員の人たちの熱心さに引き込まれた。 T：生活委員の人たちの活動が、学校みんなの心に響いたのですね。 T：みんなの意見を確認します。挨拶ができるようになったのは、一人一人が挨拶しようとしたこと、生活委員が活動を頑張ったこと、みんなで挨拶しようとする雰囲気になったことがあったから、ということでもいいですか。</p> <p>3 教材の後半を読み、話し合う。</p> <p>発問3 T：どうして「僕」は、伝統を守り、発展させていくことが大切だと思ったのでしょうか。 ワークシートに記入しましょう。 (ワークシートに記入)</p> <p style="text-align: center;">判断する</p> <p>[意図的指名]</p>

座席表シートの活用

ワークシートの活用

座席表シートの活用

第3章 「道徳科」指導と評価 【実践編】

T：では、意見を発表してくれる人はいますか。
 C：卒業生でもあるお父さんの話を聞いて、挨拶は大切だと気付いたから。
 T：Iさんは卒業生でもあるお父さんの話を聞いてということでしたが、Bさんは少し違う考えです。発表してもらえますか。
 C：卒業生が受け継いできた学校の伝統を守らないといけないと感じたからだと思います。
 T：Bさんに似ている意見で、Eさん発表してもらえますか。
 C：これまで伝統を守ってきた先輩たちのためだと考えたからです。
 T：今、卒業生や先輩のためにもという意見が多く出てきましたが、Fさんの意見を聞いてみましょう。Fさん発表してもらえますか。
 C：地域の人たちがいつも見守ってくれているから。
 T：地域の人たち、卒業生、先輩…と意見が出てきましたが、伝統を守り発展させていくのは、他に誰のためだと思いますか。
 C：自分たちの学校のために。
 C：入学してくる後輩のために必要だと思った。
 T：なるほど、自分たちの学校のために、これらのためにも伝統を守り、発展させていくのが大切だと思ったんですね。
 4 本校の伝統を受け継ぎ、更によりよい伝統を作っていくために自分が特に取り組みたいことを考える。

気付く

T：今の3年生が1年生の時、私たちの学校は10周年を迎えました。その時に作った記念誌に、「これからの私たちの学校に期待すること」を聞いています。第3位は「伝統を受け継ぎ、発展させること」、第2位は「笑顔で明るく元気なこと」、第1位は「挨拶がこだますること」でした。第3位に「伝統を受け継ぎ、発展させること」とありますが、私たちの学校の伝統には何がありますか。
 C：挨拶です。
 C：清掃活動です。
 C：文化祭で歌うときの大きな声です。
 C：校舎がきれいなことです。
 T：そうですね。挨拶、掃除、歌声が伝統ですね。心の中で振り返ってみましょう。今まで、自分はどうな挨拶をしていましたか。大きな声で目を見て挨拶できていましたか。掃除や地域清掃のときどんな風に活動していましたか。歌はどんな風に歌っていましたか。(少し待つ。)

発問4

T：自分たちの学校の伝統の中から、自分が特に取り組んでみたいことは何ですか。ワークシートに記入しましょう。この後、グループで話し、最後にみんなで意見を共有したいと思います。(ワークシート記入)

ワークシートの活用	座席表シートの活用
-----------	-----------

[グループでの話し合い活動]

C：大きな声で挨拶をした方がいいと思います。
 C：毎日相手を見て、元気よく大きな声で挨拶をした方がいいと思います。
 C：私も、元気にはっきりと大きな声で、笑顔で挨拶をした方がいいと思います。
 C：みんなの意見で、これは大事だなと思うことはありますか。
 C：「相手を見て、大きな声で、元気よく、笑顔で」という意見が出ていますね。
 C：「毎日」という言葉は、伝統につながるように思います。

[全体での話し合い活動]

T：グループで話し合ったことを発表しましょう。
 C：毎日、相手を見て、元気よく笑顔で挨拶をすることです。毎日挨拶をするということが、伝統を受け継ぐことにつながるからです。
 C：これからも掃除を頑張ってやって、きれいな校舎にすることで、自分たちもこれから入学してくる後輩も気持ちよく生活できると思いました。
 C：文化祭で大きな声で歌うことです。学校に歌声が響くと、みんな明るくなるし、みんなの心が一つになると思うからです。

終末

5 教師の説話を聞き、学習を振り返る。
 T：最後に主事さんからの手紙を紹介します。「私が校内を掃除しているときいつも目を見て大きな声で挨拶をしてくれます。教室から聞こえてくる歌声はとても美しいです。掃除の時間に皆さんが校内をきれいにしようとしている姿が素敵です。そんな〇〇中学校は素敵だなといつも思っています。」

観察対象生徒Bの学びの姿からの見取り

《本時のねらいに関わって、生徒Bへの教師の意図》

友達との話し合い活動を通して、本校のよさに気づき、よりよい伝統を作っていこうとする気持ちをもたせたい。

《道徳科の授業における生徒Bの姿》

- ・自己評価に○を付けるが、文章で表現することが難しい。
- ・ほとんど挙手することはなく、発言もない。

評価の場面	評価の方法	生徒の活動や反応の場面
「問う」場面	座席表シート (T 2)	発問 1 発問 2 (発言なし。友達の発言を聞いている。)
「判断する」場面	座席表シート (T 1)	発問 3 意図的指名により発表をする。
	ワークシート (T 1)	発問 3 (「卒業生から受け継がれているから。」と記述する。) 発問 4 (記述なし。)
「気付く」場面	座席表シート (T 2)	発問 4 グループでの話し合い活動
	ワークシート	自己評価 (「自分の意見を考えることができた」「他の人の意見を聞くことができた」両方の項目に、「すこしできた」に○を付ける。) 記述 (記述なし。)

生徒Bの授業記録

	学習活動 T：教師の発問、問いかけ	B：生徒の発言、反応
展開	発問 3 T 1：どうして「僕」は、伝統を守り発展させていくことが大切だと思ったのでしょうか。 T 1：(意図的指名をする。)	B：卒業生が受け継いできた学校の伝統を守らないといけないと感じたからだと思います。
	発問 4 T 1：自分たちの学校の伝統の中から、自分が特に取り組んでみたいことは何ですか。 (ワークシートに記入) [グループでの話し合い活動]	B：書こうと筆記具をもっていたが、考えを書くことができなかった。
	[グループの話し合い活動の様子] (T 2による見取り) C：私から…。大きな声で挨拶する。 C：私も、大きな声で挨拶するって書いたよ。 C：私は、明るい元気な声で挨拶するのが大事だと思うから、元気に挨拶する。 C：Bさんは。 B：書いてないよ。 C：今、考えたことでもいいから。 C：(みんな少し待つ)	

	<p>B：えっと、目を見て挨拶する。 T2：(Bの様子を見て) 何が一番大切だと思う？ C：(全員に) 何がいいと思う？ B：挨拶なら、なんでもいいんじゃないかな。 C：私は大きな声かな。 T2：(Bの発言を受けて、Cの意見を深めようとする。) C：大きい声でないと、相手に聞こえない。 C：でも、大き過ぎると、うるさいよね。 B：大きな声でも反応しない人がある。 T2：(Bに対して) じゃあ、どんな挨拶をしていくのがいいのかな。 B：(黙り込む) C：小さい声だと聞こえないし…。 C：ちょうどいい声で、相手の顔を見て笑顔で挨拶するのがいいと思う。</p>	
終末	<p>5 教師の話を聞き、学習を振り返る。 (ワークシートに記入)</p>	<p>B：(自己評価) 悩んだ末、「すこしできた」に○を付ける。感想を書く時間が残っておらず、書くことができなかった。</p>

【学習状況の見取り】

「僕」の気持ちを考えることを通して、伝統は卒業生から脈々と引き継がれていることに気付いた。ただ挨拶をすればよいのではなく、相手の顔を見て笑顔で挨拶することが大切なのではないかという友達の意見から、伝統を継承し、よりよい伝統を作っていくためにはどうすればよいのかを考えることができた。

観察対象生徒 I の学びの姿からの見取り

《本時のねらいに関わって、生徒 I への教師の意図》

自分の意見に対して思いが強く、物事を多面的・多角的に考えることが難しい。友達との話し合い活動を通して、物事にはいろいろな見方・考え方があり、友達の意見を取り入れるよさを感じさせたい。

《道徳科の授業における生徒 I の姿》

- ・ワークシートに少し記述する。自己評価に○を付けるが、文章で表現することが難しい。
- ・指名すると発言するが、自分から進んで発言はしない。

評価の場面	評価の方法	生徒の活動や反応の場面
「問う」場面	座席表シート (T 2)	発問 1 発問 2 (発言なし。友達の発言を聞いている。)
「判断する」場面	座席表シート (T 1)	発問 3 意図的指名により発表をする。
	ワークシート (T 1)	発問 3 (「お父さんの話を聞いて」と記述する。) 発問 4 (考えたこと「明るい元気なあいさつ」と記述したが、その「理由」については記述なし。)
「気付く」場面	座席表シート (T 2)	発問 4 グループでの話し合い活動 (自分の意見を発言し、話し合いをリードする。班の意見を代表して発表した。)

	ワークシート	自己評価 (「自分の意見を考えることができた」は「すこしできた」に○ 「他の人の意見を聞くことができた」は、「あまりできなかった」 に○を付ける。) 記述 (記述なし。)
--	--------	--

生徒 I の授業記録

	学習活動 T : 教師の発問、問いかけ	I : 生徒の発言、反応
展開	発問 3 T1 : どうして「僕」は、伝統を守り発展させていくことが大切だと思ったのでしょうか。 T1 : (意図的指名をする。)	I : 卒業生でもあるお父さんの話を聞いて、挨拶は大切だと気付いたから。 I : ワークシートに「明るい元気なあいさつ」とすぐに書いたが、「理由」については書くことを止めてしまった。
	発問 4 T1 : 自分たちの学校の伝統の中から、自分が特に取り組んでみたいことは何ですか。 ワークシート (ワークシートに記入) [グループでの話し合い活動]	
	[グループの話し合い活動の様子] (T2による見取り) C : 私から…。大きな声で挨拶する。 C : 私も、大きな声で挨拶するって書いたよ。 I : 私は、明るい元気な声で挨拶するのが大切だと思うから、元気に挨拶する。 I : Cさんは。 C : 書いてないよ。 I : 今、考えたことでもいいから。 C : (みんな少し待つ) C : えっと、目を見て挨拶する。 T2 : (Cの様子を見て) 何が一番大切だと思う？ I : (全員に) 何がいいと思う？ C : 挨拶なら、なんでもいいんじゃないかな。 C : 私は大きな声かな。 T2 : (「なんでもいい」の発言を受けて、Cの意見を深めようとする。) C : 大きい声でないと、相手に聞こえない。 I : でも、大きすぎると、うるさいよね。 C : 大きな声でも反応しない人がいる。 T2 : じゃあ、どんな挨拶をしていくのがいいのかな。 C : (黙り込む) I : 小さい声だと聞こえないし…。 C : ちょうどいい声で、相手の顔を見て笑顔で挨拶するのがいいと思う。	
	[全体での話し合い活動]	I : (班の代表として発表する。) 毎日、相手を見て、元気よく笑顔で挨拶をすることです。毎日挨拶をするということが、伝統を受け継ぐことにつながるからです。
終末	5 教師の説話を聞き、学習を振り返る。 (ワークシートに記入)	I : (自己評価) 「すこしできた」「あまりできなかった」に○を付ける。感想を書こうとしていた。

【学習状況の見取り】

伝統を継承し、よりよい伝統にしていくために、自分が特に取り組みたい挨拶について考えを深めた。話し合い活動を通して、友達の意見を取り入れ、元気よく笑顔で挨拶することを毎日取り組んでいきたいという思いを強めた。

道徳科 第()回 ()月()日

()年 ()組 名前()

ミソアジの学校

① どうして「僕」は伝統を守り、発展させていくことが大切だと思ったのでしょうか。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

② 本校の伝統を受け継ぎ、更によりよい伝統を作っていくために、自分が特に取り組みたいことを考える。

<考えたこと>

<理由>

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

《自己評価》

① 自分の意見を考えることができた。 できた ・ すこしできた ・ あまりできなかった

② 他の人の意見を聞くことができた。

できた ・ すこしできた ・ あまりできなかった

③ 感想(思ったこと・感じたこと)

道徳 座席評価シート

授業実施日	平成 年 月 日 ()	授業者	
内容項目	学校の伝統を受け継ぐ【C(15)：よりよい学校生活、集団生活の充実】		
評価	自分の学校の伝統について理解を深め、みんなで協力し合ってよりよい伝統を作っていこうという思いをもつことができたか。		

<評価マーク>

●…価値に対する日々の姿
?…疑問・反対意見

○…中心発問に対して
→…つながり(～と～)

!…気付き・賛同
⇄…反対(～と～)

教卓

名前

皆で力を合わせる。
↳ ミソアジとは。
? 恥ずかしかった。
! 挨拶。

名前

名前

○発展させていく。
よくなる。

名前

名前

○毎日することが伝統につながる。
発展
後輩に受け継ぐ、自分たちがやめたらなくなる。

名前

! 式典を覚えている。

うなずき

名前

名前

○ワークシートは書いている。

名前

○相手に伝わる挨拶が大切。

名前

○発表
先輩が挨拶してくれる。
挨拶を大切に思ってくれる人がいるから。

名前

うなずき(教材読み込み中)
分かんない、知らない、ドキドキした。

名前

みそラーメン。
大きな声で挨拶。

名前

! 10周年式典を覚えている。学校の伝統は何かについて書いた。

名前

○一歩踏み出してみようと思った。先輩をみて、そう感じた。

恥ずかしい

名前★生徒I

○父の話を聞いたから。
(グループでの話合い)
大きな声で挨拶をするのがいいのか……。悩む。

挨拶の大きさ

名前

挨拶はしている。

名前

○次につなげるため、少し大きな声で。

恥ずかしい

名前★生徒B

○卒業生から伝統を受け継いでいるから。
(グループでの話合い)
挨拶なら何でもいい。
↓
大きな声でも反応しない人も。